

# おもしろ算数⑨③(小5年生)

(このページは、直接入力できません。そのまま 見るか、印刷してもらって使ってね!!)

小学校5年生の みなさん、こんにちは。

おもしろ算数⑨③は、「単位量当たりの大きさ」の問題です。



## 【問題】

花子さんが、お祭りに行きました。そこに、とてもおいしそうなたこ焼きを売っているお店が2つありました。

2つのお店の、1パックのたこ焼きの数と代金は次の表のようです。

|                | アのお店 | イのお店 |
|----------------|------|------|
| 1パックのたこ焼きの数(個) | 5    | 10   |
| 代金(円)          | 250  | 400  |

ア、イ、どちらのお店のたこ焼きの方が、安いと言えるでしょうか。

## 【自分の考え】

こたえ. イのお店のたこ焼きの方が安い。

はじめに、アとイのお店の「たこ焼き1個当たりの代金」で比べます。

アのお店・・・250円÷5=50円      1個当たり50円

イのお店・・・400円÷10=40円      1個当たり40円

だから、イのお店の方が、安いと言える。

つぎに、アとイのお店の「1000円当たりのたこ焼きの個数」で比べます。

アのお店・・・1000円÷250円=4      5×4=20  
1000円あたり20個

イのお店・・・1000円÷400円=2.5      10×2.5=25  
1000円あたり25個

だから、イのお店の方が、安いと言える。

※単位量当たりの大きさの勉強です。アとイのお店のたこ焼きは、どちらが安いか考えました。

算数で考えると、みなさんも解決したように、上のような答えになります。

しかし、生活の場面では、安いからそれが一番良いということにならない場合もあります。

たとえば、1人でたこ焼きを買うのに、イのお店の方が安いからと言って、

10個で400円のたこ焼きを買っても、食べきれない場合もあります。

生活の場面では、値段とどれだけの個数が適しているかなど、色々な条件が入ってきます。

みなさんは、「単位量当たりの考え方」を身に付けながら、その場その場に応じて判断が求められることとなりますね。